

◆ tekuteku 2014★日光道中・越ヶ谷宿を歩く（活動記録）◆

企 画■日光道中・越ヶ谷宿のまちづくり ～埼玉住まい・まちづくり交流展に参加する～

日 時■2014年11月16日（日）12:00～15:30

内 容■埼玉住まい・まちづくり交流展2014 in 越谷「わがまち再生、歴史と文化の交差点」第2日

①車座ミーティング「既存建築の保存と利活用について」

②ガイドツアー「越ヶ谷宿を歩く」＋晩秋の野点（八百喜参の蔵）

③同時開催「日光街道越ヶ谷宿 第2回宿場まつり」

参加者■大竹 亮、重永真理子、古里 実*（以上3名、敬称略。*紹介者）

企画主旨■越谷では、駅周辺の再開発や建物の高層化などにより景観が激変していますが、これに対して日光道中・越ヶ谷宿の面影を残す歴史的建物や街並みの存続・活用を目指した市民活動が始まっています。恒例の埼玉住まい・まちづくり交流展が今年は越谷市で開催され、第2日には越ヶ谷宿を歩くガイドツアーと晩秋の野点（八百喜参の蔵）、車座ミーティング「既存建築の保存と利活用について」などが実施されます。また「日光街道越ヶ谷宿・宿場まつり」も同時開催されています。越ヶ谷宿を歩き、町の歴史と文化を感じとりながら、今後のまちづくりを考えてみましょう。

<参加者の意見・評価>

1◆越ヶ谷宿のまちについての印象

●駅前には再開発が進んでいるが、その先の旧日光道中までは宿場町の面影が感じられる。旧道の交通量が多くて歩みにくく商店街としても疲弊しつつあるが、かなりの歴史的建物が残っており、しかも現役で使われている町家も多いので、今後のさらなる保存活用に期待したい。

●日常の中に宿場町があるというか、宿場町の雰囲気の中に日常があるというか。スタッフの方々のやりとりを聞きながら、地元の方々が日常の風景を大切にしている感じがとても良かった。



越ヶ谷宿の風情を伝える田中米穀店



旧郵便局の洋館を転用した横田診療所



晩秋の野点が催された八百喜参の蔵



黒塀で囲まれた豪壮な旧家の屋敷

2◆特に印象に残った場所

田中米穀店★旧日光道中に沿った町家が今も現役で活躍しているのが頼もしい。

行徳屋建築★同上。単独で残り、街並みになっていないのが残念だが・・・。

横田診療所★旧郵便局だった洋館の建物が、歴史的な景観に異彩を放ちつつ風格をもたらしている。

豪壮な旧家の屋敷★黒塀で囲まれた広大な敷地に母家や土蔵のほか集合住宅も景観に配慮して建てられている。

八百喜参の蔵★敷地の奥にあるどっしりした石蔵。イベントにも活用されているようで楽しい。
蔵の移築★開発に伴って開発者（地元ディベロッパー）の負担で蔵を移転させた（基礎をRCで新設し、そこまで曳家して180度回転させた!!）、凄いことやった、感動でした。今後、市が取得し、活用を考えるとかで、今後が楽しみです。

街道沿いの建物の壁面線★建物が道路と平行ではなく、店の前に台形の空間が規則正しく繰り返される街並みが面白い。どんな理由なのでしょう。また、面白い街並み形成にこんな壁面ルールも活用できるのでは。
米長乾物店の鰯節★もちろん有名な金物店も楽しかったが、今どき鰯節が売られているのが珍しい。鰯節を削る暮らしを見直すことが、昔ながらのものを見直し、昔ながらの空間を大切にすることにつながるかも。



街道沿いの建物の壁面線（台形の空間）



米長乾物店の鰯節（昔ながらの暮らし）

3◆越谷宿のまちは今後どういう姿になってほしいですか。そのためには、どういうまちづくりをしたらいいのでしょうか。

- 価値ある歴史的資源を大切にすることはもちろん、暮らしの場として培われた文化を活かしてもらいたい。また、日光道中の他の宿場町と連携して、最近増えている街道を歩く人々と交流することも、宿場町のDNAとして期待したい。郊外住宅地や駅前マンションに住む新住民にも、心のふるさとになるような。
- 地元の方々いろいろなつながりを大切に、あたたかなまち。中央住宅のような地元ハウスメーカーが育っていきける土壌を大切に。

4■その他、今回の企画に対する感想など

- 越谷宿を歩くガイドツアーに参加させていただきました。といっても、午後の部は私以外の一般参加者はなくて、地元スタッフの方々4名と歩きました。開発に伴って蔵を移転させたり、他にも興味深いことがいっぱいでした。地元の方々いろいろな活動でつながっているようで、とても温かなガイドツアーでした。説明してくださった方は、越谷で生まれ育った蔵や町屋の修復・保存のプロの方で、お名前も伺わず失礼してしまいました。企画をご案内いただき、ありがとうございました。（S・M）
- 越谷を初めてじっくり歩きましたが、歴史的な蓄積の豊かさに驚きました。日光街道越ヶ谷宿・宿場まつりを見物し、旧道沿いの町家や洋館医院、土蔵や石倉などを回りました。車座ミーティングでは、蔵の曳家移転に感銘を受けました。幸手宿のNPO代表の方（11/29にご案内いただいた新井さん）も参加され、日光歴史街道活性化コンソーシアムなるものもあり、今後のまちづくりが楽しみです。なお、さらに宿場が歩きくなったので、帰りに途中下車して夕暮れの草加宿も歩いてしまいました！ありがとうございました。（O・R）
- コーディネーターより
参加ありがとうございました。残された蔵の件は、地元ハウスメーカー中央住宅が戸建コーポラティブとして当初企画したものです。企画が頓挫してもただでは済まさないところが素晴らしいと思っています。（H・M）

